

みなしご通信



ツキノワグマのカツの役目は

犬猫みなしご救援隊栃木拠点で暮らしているツキノワグマのカツは2020年11月20日までお母さん熊と一緒にいるべき子熊のころになぜかひとりで栃木県の那須烏山市の林間住宅地に現れ道路の真ん中に座り込んでそこらに落ちてる栗を一心不乱に食べていました。その姿を複数の住民が目撃し地元の新聞やTVニュースで「那須烏山市に熊が出た」と取り上げられたため市をあげ県をあげての大騒動に発展しました。そうなるかと善男善女は黙っておりません！「撃ち殺すな！」「山に返せ！」と言う声があちこちからあがりました。那須烏山市としても最初から撃ち殺す気はなかったのですがまだひとりで生きていけない小さな子熊の



引き取り先を探しました。当初、市は動物園に頼めば引き取ってもらえると思っていたらしく：私に言わせれば世の中をもっと知れ！パンダなら集客が見込まれるからどこの動物園も引取るでしょうがツキノワグマじゃねえ。結果栃木県内にある全動物園から引き取りを拒否され西日本の動物園にまで範囲を広げてみただけでこれまた全動物園から

拒否され、困った川俣市長が《名案》を思いつきました(笑)那須烏山市でTNR一斉とかをやって市民の中ではなぜだか評判がすこぶる良い(笑)犬猫みなしご救援隊に頼んでみようかと。それで市長からジキジキに保護の要請を受けたのです。私は考えました。考えましたよ当然。相手は熊で、うちで引き取ったあと熊を飼育するのは熊飼育ド素人のおばちゃんたちですからね。そして答えを出しました。『もしかししたらツキノワグマの生態について世に知らしめる絶好のチャンスかも知れん！ド素人の私らが飼育するからこそ価値が出るかも知れん！』私は自分も毎日を楽しく過ごして寿命を全うしたので他の生き物たちにもそうであってほしい！ヨシ！次は熊か！と言うかついに来たか熊が！オモロイ！やっつてやろうじゃない！引取ると決めてから栃木県との話し合いが始まり、なんとか飼育許可を取って保護依頼から1ヶ月、犬

猫みなしご救援隊栃木拠点は正式にツキノワグマ1頭を引取りました。

カツは犬の捕獲器の中に入れられ那須烏山市役所からやって来ました。身長65cm体重8kg。頭はデカイけど体は中型雑種犬ぐらいでした。右も左もわからんような小さな子熊ではなくある程度成長した子熊だったのでうちで暮らすことになかなか慣れてくれません。ストレス行動も見られたのですぐに去勢手術をすることを決めました。左の写真は去勢手術の後まだ麻酔が効いた状態のカツを中谷百里人生で初めて最後の《熊抱っこ》です。このとき栃木拠点の者は全員、カツを抱っこしました。次の写真、



右は田原くんですが鉄入りの安全長靴を履いて檻の扉を持って自分の体をガードしています。この頃は檻掃除のタイミングで部屋の中で運動させていたのですがこんなに小さくてもカツは熊でしたよ！これぐらい離れた場所でも遊んでいても何かの拍子に《一瞬》で近寄ってきて田原くんの足を攻撃するので。安全靴を履いてなかったら今ごろ田原くんは両足が無くなってますよ！とにかくカツの攻撃の速さが尋常でないためトロい動きの私はこの部屋には入れませんでした。でも、檻の中のカツは怖くないので私はヒマさえあ



ればカツのそばに居るよう
にしました。いつしかカツ
も檻の中ではありますが私
の近くで寝るようになりま
した。

やがてカツの獣舎ができ
あがり遊具も次々とできて
いき栃木県の合格もすんな
りいただきました。カツは
獣舎に移動しましたが室内
での生活が気に入っていた
みたいで夕方になると帰る！
帰る！と大騒ぎ(笑)朝、獣
舎に行き、夕方室内に帰る
にはカツの入った檻を抱え
て移動する生活を続けるし
かないけど、いづれ重くな
るカツをいつまでも担いで
連れることは無理。なので
カツがうちに来て1年、2
021年12月24日のク
リスマスイブの日、カツの
ため&うちの者たちの将来
のためのカツ部屋が完成し
ました。私のための台所も
カツ部屋の一角にできまし
た。やったく〜♪

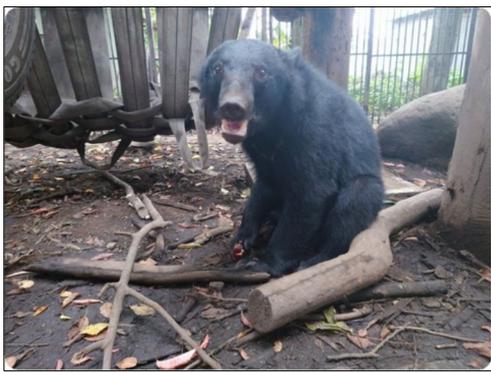
カツロードもできカツを
担がなくてもカツの移動が
簡単にできるようになりま
した。ゴロゴロ運ぶだけ♪

すでにずいぶん大きくなり、
ステンレス檻の中で夕飯を
食べるカツとこの檻の製作
者のご対面。B型男は「こ
の檻はえかるツ？気に入っ
たじゃろ？」とカツに言っ
ています。カツは無視して夕
飯を食べています(笑)
大きくなった今のカツは
立つたら私の肩ぐらになっ
たります♪朝ごはんを食べ
まったりしているカツに
「栗が届いたよ♪あとで食
べるんか？」待って待って栗は
別腹じゃ〜♪カツは2年
前、那須烏山市の林間住宅
街で栗を食べていたところ
を御用となり犬猫みなしご
救援隊栃木拠点に来ました。
私たちは栗だけは絶やさな



いようにと思つて、いただ
いたクリは冷凍保存し1年
を通してカツのおやつになっ
ています。小さかったカツ
も今じゃたの熊になっちゃ
いました。今年も栗がたく
さん届きますように皆さま
にお願いしなきゃね！…っ
てこの際だからいろいろお
願いしとこッ♪これからの
シーズンはどうか皆さま、
栗・サツマイモ・梨・桃・
りんご・ぶどうなどの秋の
味覚を忘れないで送ってく
ださい。どうかよろしくお
願い致します。送り先は、
〒3250014 栃木県
那須塩原市野間308の1
NPO法人犬猫みなしご
救援隊 電話080(35
22)3745。
栗を食べ満足顔のカツ。
大きくなりました。私たちは
数々の失敗を乗り越えなが
らここまで来ました。これ
からも試行錯誤しながら特
定動物に指定されているツ
キノワグマを飼育し、皆さ
まにその習性やツキノワグ
マの魅力をどんどん伝えて
いきたいと思えます。そし

て行政のお偉い方々に対し
ては、問題を起さされたら
厄介だから《問題が起きる
前に殺そう》という非人道
的で短絡的な思考回路の即
時撤廃と、いかなる生き物
も同じ地球上で共生でき、
殺すべき命なんてこの世に
存在しない！という当たり
前のことをご理解いただき
たいと強く願っております。
きつとカツはそのためにう
ちに来た…そのためにカツ
は、私とのつながりが深い
那須烏山市の住宅街で栗を
食べていたのだと私は思っ
ます。



本紙は中谷百里代表ブログ
「みなしご庵へようこそ」
の記事を抜粋したものです。

NPO法人(特定非営利活動法人)
犬猫みなしご救援隊
www.minashigo.jp

犬猫みなしご救援隊
〒731-0234
広島県広島市安佐北区可部町大字今井田690-2
TEL : 082-812-3745 FAX : 082-815-2711

YAHOO! JAPAN ネット募金

つながる募金
▲ネットやスマホで当団体に募金できます

みなしご通信のバックナ
ンバーは、公式ページに掲
載しております。「みなし
ご通信」で検索してみてく
ださい。